

公益財団法人 小岩井農場財団

2020 年度事業計画

当財団は、「重要文化財小岩井農場用施設の建造物を保有し、それらを保存・修復・管理すると共に、それら建造物の研究及び公開・普及を図り、学術・文化の振興に寄与する事」を目的としている。本格的な活動の初年度となる2020年度には、前述の目的とする事業の基礎を作るとともに、以下の事業を推進する。

1. 文化財の広く一般への公開と普及活動

保有する国指定重要文化財21棟を、広く一般に公開し、日本に於ける牧畜業の発展の歴史の理解を中心に普及活動を行なう。

- (1) 公開・普及活動の実施にあたり、その公開体制・公開範囲・公開方法等を策定し、公開を実施する。
- (2) 公開・普及活動実施の為に必要な、来訪者動線の確保、説明パネル等制作、広報資料の整備、等の施設計画を策定し実施に着手する。
- (3) これら文化財について、その文化・技術・歴史的な意義を広く一般の方々に普及させるべく、各種方策を検討・企画する。

2. 文化財の保存・修復計画の策定と実施

国指定重要文化財21棟の保存・修復に付いては、「建造物文化財中期修復計画」に基づき、本年度の具体的修復計画を策定し、必要費用を精査の上実施する。

今年度の修復対象物件は次のものを予定している。

- (1) 本部事務所
- (2) 本部第一号倉庫
- (3) 本部第二号倉庫
- (4) 乗馬厩
- (5) 倶楽部
- (6) 四階建倉庫
- (7) 耕耘部倉庫
- (8) 玉蜀黍小屋 北西棟
- (9) 玉蜀黍小屋 北東棟
- (10) 玉蜀黍小屋 南西棟
- (11) 玉蜀黍小屋 南東棟
- (12) 第一号牛舎
- (13) 第二号牛舎
- (14) 第三号牛舎

- (15) 第四号牛舎
- (16) 種牡牛舎
- (17) 第一号サイロ
- (18) 第二号サイロ
- (19) 育牛部倉庫
- (20) 秤量場
- (21) 冷蔵庫

3. 展示館の開設

広く一般の方々に、当財団の保有する国指定重要文化財の理解を促進する目的で、当該文化財が存在する小岩井農牧(株)まきば園内に施設を借り受け、そこに展示館を開設する企画・施工・開設に取り組む。

4. 文化財保存・修復・管理・公開・普及の為の資金の募金

国指定重要文化財 21 棟の保存・修復・管理・公開・普及の為の資金、並びに必要最低限の財団運営に必要な資金として、三菱グループ企業を中心に約 30 社より、2020 年度中に約 110 百万円の寄附金を受贈頂く。

5. 文化庁よりの補助金

上記 4 項にある、三菱グループ企業からの 2020 年度の寄附金受贈と並行して、国指定重要文化財の保存・修復の為に、文化庁よりの補助金の支援を頂く。

6. 文化財の研究の推進

国指定重要文化財 21 棟についての研究活動については、大学教授等の有識者の協力を仰ぐ。

以上